



市民が主役のまちづくりを 布目ゆきお 市政直行便

2013年新春号 NO. 33

【編集・発行】市民ネット
長野市議会議員・布目裕喜雄

〒380-0961

長野市安茂里小市 1-4-10

自宅 ☎ 227-3537 FAX 227-3897

メール: info@nunomeyukio.jp

笑顔で、希望つなぐ2013年に

新年あけましておめでとうございます。

『巳年…新しい年の暮らしが、この国のかたちが、そして長野市政が「蛇行」しませんように…。今年こそ、まっすぐに、笑顔で希望が繋がる一年にしたいものです。市民が主役のまちづくり、安心が心に響く、あったかい市政をめざし、グローバルに考え、地域から行動する—この原点を忘れず「龍頭蛇尾」とならないよう、心身ともに「勢い」をもって駆けたいと思います』…今年の私の年賀状です。

今年は7月に参議院議員選挙、そして10月には長野市長選挙を迎えます。とりわけ、鷺沢市政3期12年を問うこととなる市長選挙は、選挙構図が決まっていないものの、民意がしっかりと反映される選挙戦となるよう、気持ちを引き締めて臨む所存です。本当に良い年になりますように。

【写真は今年1月6日大門区新年会での獅子舞です】



市議会議員 布目裕喜雄

12月議会 論点・焦点

17億2,600万円余の 補正予算等を可決

■補正予算案に賛成

補正予算には、第一庁舎・市民会館建設事業の本体工事に伴う土留め壁工事に7億8千万円、(仮称)大豆島総合市民センターの駐車場用地確保に4,400万円、若穂に建設する食肉加工施設の整備に1,450万円、小中学校の老朽化緊急対応でトイレ改修に1億7千万円、児童手当支給のための3億2,700万円、災害復旧に8,400万円等が盛り込まれました。

新たに建設する(仮称)第四学校給食センター用地取得費として5億2千万円余の債務負担行為を変更設定する内容も含まれます。

12月議会では、こうした補正予算案をはじめ、地域の自主性・自立性に関する法律(一括法)の制定に伴う条例改正案、指定管理者に関する案件や人事案件を含め、市から提出された72議案すべてを原案通り可決(人事案は同意)し

て閉会しました。

■豊野温泉りんごの湯の 指定管理者に反対

議案では、豊野温泉りんごの湯の指定管理者の指定に関する案件に反対しました。同施設の指定管理者は株式会社オーチャー(東京)、Fun Space 株式会社で構成される「りんごの郷運営企業体」で、更に5年間継続する議案です。湯量の減少による露天風呂の休止について、その原因であるパイプに付着する湯垢(スケール)を除去し湯量の安定供給を維持するための管理が市行政及び指定管理者のもとでの確・適正に対応されていないと判断したからです。

原案は可決されましたが、湯量の安定供給の確保と露天風呂の再開に向け、今後も厳しくチェックしていきます。

12月議会、7つの論点をチェック

12月議会全体では、中央道・笹子トンネルの屋根崩落事故を受け、老朽化している公共施設・インフラの安全点検・維持管理の問題、43億円の事業費で大規模プロジェクトに追加された第四学校給食センター整備のあり方、サッカースタジアム整備事業の情報公開と市民合意、長野電鉄旧屋代線の跡地活用、給食食材の放射性物質検査の態勢、ごみ焼却施設の建設合意などなどが論点となりました。

沢山の論点・課題があるのですが、それらの中から7点に絞って報告します。

① 第四学校給食センター、PFI（民間資金の活用）も検討

総事業費43億円、大規模プロジェクトに追加された第四学校給食センターは、第一・第三給食センターの老朽化、調理の安全性確保等に伴い新設するもので、1万2千食を担当することになります。自校給食方式への転換を求める声が根強くある中で、市側は「自校給食方式ではなくセンター方式を進める、豊野給食センターは第四センターに統合する」「第三・第一給食センターの改築は、その段階で検討することとし、給食センター整備事業全体（概算事業費で約86億円）を大規模プロジェクトとはしない」との考えを示しました。

その上で「第四給食センターの建設・運営についてPFI導入を検討する」ことを打ち出しました。

「PFI（プライベート・ファイナンス・イニシアティブ）」とは、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法。鷲沢市長ならではの発想なのでしょうか。

民間に委ねる形で学校給食の安全・安心が確保できるのか、PFIによる学校給食センターの建設・運営について、状況調査をし、課題を洗い出すことが急務です。

私自身は、大規模な給食センター方式で良いのか、食の安全を確保し、食育を推進する観点から学校内調理場（自校給食）方式の利点を広げていく必要があるとの問題意識を持っています。小



中学校が災害時の避難所となっていることから学校に給食施設があることの利点も考える必要があるのではないのでしょうか。

「学校給食センターのあり方について市民参加による検討を求める請願」が市民団体から提出され、私も紹介議員となりましたが、賛成少数で否決されました。残念な結果です。

また、大規模な施設建設事業が膨らむことによる財政への影響もチェックしなければなりません。

補正予算案には賛成したものの、しっかりと市民合意のもとに、PFI手法の課題も含め、学校給食センターが、食育の拠点となり、地産地消の推進につながるよう方向性を見極め対応していきたいと考えます。

② ごみ焼却施設の建設同意、地元で「手法」決定を

大詰めを迎える長野広域連合のごみ焼却施設の地元における建設同意の方法について、アンケートや住民投票の意見がある中、「行政が決めるものではない。地域で方法を決定してもらうことが最良」とし、行政としては地域等が主体となって建設同意の方法を決めるよう迫った格好です。

ごみ焼却施設は建設地地元の受け入れ合意が鍵ではありますが、全市民的な課題です。「年内に同意を得たい」と強調する一方で、「建設同意の方法は地元で決めて」というのは、ご都合主義ともいえるのではないのでしょうか。基本は理解す

るものの違和感が残ります。灰溶融炉の建設の是非問題も残っていますし（直行便32号参照）、最終処分場の新たな建設に言及したこともポイントです。

年を越した今なお、大豆島地区では同意に至っていないようです。ごみ焼却施設建設に伴う周辺環境整備に約90億円投入する計画も地元と協議中です。ここまで来ると、大豆島地区にお願いしていかざるを得ないと考えますが、齟齬が生じないよう、行政側の丁寧な対応を強く求めたいと思います。

③ サッカースタジアム建設…情報開示拒むパルセイロ

昨年10月24日に開かれた「スポーツを軸とするまちづくり市民会議」でAC長野パルセイロ側から示された資料等が財務諸表等を含むため情報開示されないことが明らかに。

市民に開かれた市民説明会で提示された資料

は、公開されて当然のこと。一部の市民への公開で事足りりとするパルセイロ側の姿勢に基本的な問題があるのですが、パルセイロの言いなりに対応する行政としての責任も問われます。年末になって、ようやくHP上で開示されはしましたが…。

④ 屋代線の跡地活用…自転車道・遊歩道で整備へ

長野電鉄から一括無償譲渡の申し出があった旧屋代線の跡地活用について、基本構想「千曲川新道活性化プラン」がまとまりました。鉄道敷きは自転車道と遊歩道として再整備し、松代・綿内駅舎等は待合所・休憩所として活用することに。沿線3市で一体的な整備を図るとされました。

地元沿線住民の要望に基づく案ですから、基本的に評価します。活性化に繋がるよう願います。

しかし、一般道との交差点が70カ所に及ぶことや橋梁・トンネルが残ることから、自転車や歩行者の安全対策に万全を期すことが重要です。高校生等の自転車通学道路となることから、廃止代替バスの運行計画への影響等を見極めつつ、国道4

03号線の早期改良と合わせ、河東地域の公共交通網のあり方について改めて再考していくことが問われそうです。

私自身は、鉄道敷きをバス専用道路として活用する提案をしてみました。バスが通行できない狭隘なトンネルなどの問題もあり、残念ながらもとまりませんでした。



⑤ 戸隠スキー場…負債処理して経営改革へ

市は、約15億7千万円の負債額を抱え債務超過となっている戸隠スキー場など戸隠観光施設事業会計のあり方について、地方公営企業法の改正を受け、過去の投資による負債を処理し財務体質を強化、黒字化に向けた抜本的な経営改革に取り組む方針を示しました。企業会計として存続させることとなります。

債務を帳消しにして出直すということなのですが、企業会計として残す意味合いがイマイチ不明です。因みに飯綱スキー場は特別会計で、赤字を補ってんしています。企業会計上の処理と、戸隠スキー場やキャンプ場の健全経営の確保は、別々に検討した方がベターだと考えるのですが、いかがなんでしょうか。

⑥ 新市民会館の運営管理、何と100年の壮大な計画素案

新第一庁舎・新市民会館の建て替え問題は、既に第一庁舎玄関棟の解体が終わり、本格的な工事の段階を迎える中、新市民会館の運営管理実施計画案の柱が明らかに。新市民会館は「(仮称)長野市民文化芸術会館」とし、100年の長期計画で市独自の文化芸術を根付かせるというものです。「ながの文化ビッグバン・プロジェクト」と命名された計画案は特別委員会に示されたもので、報

道によれば委員から「100年という期間は誰も管理や評価ができず、長すぎるのではないか」との意見が上がったようです。

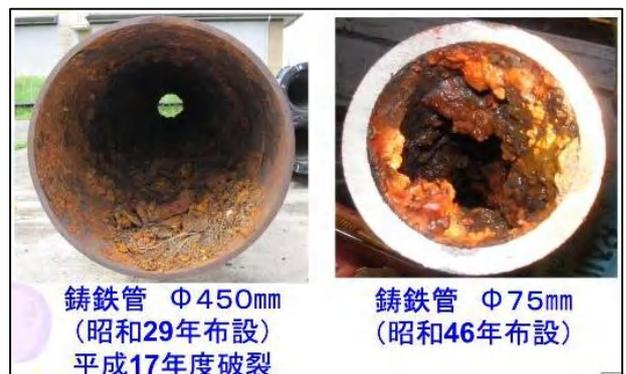
長野を象徴する文化芸術活動の拠点とはいえ、「壮大」過ぎるのではと思わせる計画です。新しく設置する財団の運営方法をはじめ、早急に対応方を考える必要があります。内容を吟味し、課題を整理して、次号でお知らせしたいと思います。

⑦ 水道料金7.86%値上げを検討…3月議会の焦点の一つに

水道使用水量の減少に伴い水道料金収入が激減していること、老朽管の更新や耐震化によって安全で良質な水を安定的に供給し続けなければならないことなどから、平均改定率7.86%の値上げが必要であるとの経営審議会での検討が建設企業委員会で中間報告されました。1月中に答申され、3月議会の議案となります。

今回の改定の特徴は「料金体系における累進度の緩和」と「大口使用者の負担軽減」が盛り込まれることです。工場等が市外移転とならないよう、大口の水道使用者に対する優遇策が必要との考えですが、その肩代わりは平均一般世帯が

負うこととなります。事業者の市内定着策は水道料金の優遇だけではないはず。 (次ページへ)



老朽管の早期更新をはじめ維持管理に経費がかかることから、料金改定は止むを得ないとしても、経営見通しの確実性、市民に過度な負担としない公平性の観点から、値上げ原案を吟味・検証

し、3月議会に臨みたいと思います。

【老朽管の写真にはビックリです。飲料水としては大丈夫とのことですが、早期更新が必要です】

市民ネット…新年度予算編成にあたり、 11の重点政策・106の重点施策を要望



昨年11月27日、所属する議会会派・市民ネットとして市長に対し、H25年度予算編成にあたっての重点政策・重点施策の要望を行いました。いわゆる新年度予算要望です。

「平和を希求、人権を尊重、自治を実現、安心・安全が市民の心に響く長野市政を」を掲げ、11の重点政策と106項目の重点施策を盛り込みました。

2人の副市長も同席しての要望では、「基本的に同意している内容が多いが、なかなか実現が難しい項目も多い」と市長。1時間余り

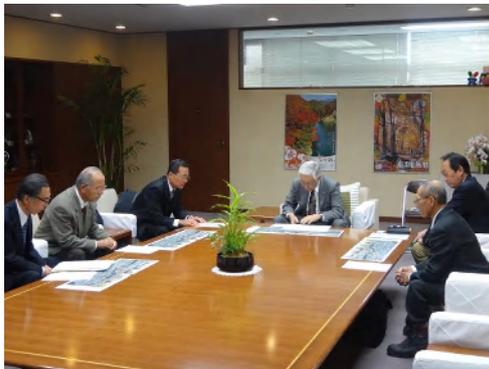
の意見交換となりましたが、公契約条例の制定や放射能測定機器の更なる導入、ごみ焼却施設での灰溶融炉からの撤退、生活保護行政の充実、子ども部の設置、TPP不参加の国への働きかけ、オスプレイの監視体制と情報公開などなどは、「まあ、考え方、価値観の違い」とされ平行線をたどることに…。市民の暮らし向きがきちんと見えているのだろうか、との想いが募ります。

市民の暮らしに眼を据え、厳選した106項目の施策実現に向け力を尽くしたいと思います。



安茂里の あれこれ

左は仮称・安茂里地区公園の記念樹植樹祭(11/25)。右は、犀川河川敷にジョギングロード整備を求め小市4地区で市長陳情(11/19)



議会改革へ！

議会報告会の実施へ検討始まる

委員を務める議会活性化検討委員会で、議会報告会の実施に向けた検討が始まりました。

予算議会となる3月議会報告を柱に、今年の5月開催が目標。開かれた市議会、身近な市議会を実現していくための取り組みです。

市民の皆さんの関心と期待に応えられる報告会にするため、力を尽くす所存です。

編集後記

◆昨年末の総選挙、民主党惨敗・自公政権復活へ。社民党にとっては大変厳しい結果。脱原発、9条を活かすため、心機一転で出直したい◆新年会での話題はやはり今秋の市長選挙。市長交代を求める声が大勢。明確な長野ビジョンをもって臨みたい◆「冬来たりなば春遠からじ」…希望がつながる1年に◆12月議会報告となる市政直行便・新春号をお届けします。質問を予定する3月議会に向けご意見をいただければ幸いです。新春とは申せ寒厳しき折、ご自愛を(布)

ホームページで、より詳しく市政報告をしています。<http://www.nunomeyukio.jp/>
ブログも開設しています。<http://www.nunomeyukio.jp/blog/> 「布目ゆきお」で検索を